

自然科学研究機構国立天文台 年俸制職員(天文データセンター 特任専門員) 公募

【募集職種】 年俸制職員(特任専門員)1名

【所属】 天文データセンター

【勤務地】 東京都三鷹市大沢2-21-1

【業務内容】

- 平成30年度に天文データセンターに導入された大規模データ解析共同利用計算機システムの安定運用とその効率化
- 大規模観測データ解析やデータアーカイブのための計算機関連技術の調査や試験機の実装・性能測定試験、および実システム導入とその運用
- 共同利用計算機における天文用データ解析ソフトウェアなどの運用・管理と利用者対応
- データ解析・データアーカイブの共同利用計算機運用に必要な情報システムの構築・改良と運用情報の管理など

【雇用期間】

2019年8月1日以降の
なるべく早い時期 ~ 採用日より3年間 ※1

試用期間：6か月

※1 契約期間満了年度に、契約期間満了時の業務量、従事している業務の進捗状況、職員の勤務能力・勤務成績・勤務態度、機構の財務状況を踏まえて、契約を更新することがあります。 ※2

※2 但し、平成25年4月1日以降に自然科学研究機構に雇用歴がある場合、平成25年4月1以降の通算雇用期間の上限が5年間までの契約となります。

【応募資格】

- Unix系OSを搭載したサーバ等の運用・管理経験、Webアプリケーションをはじめとするプログラム開発経験など
- 天文データ解析ソフトの利用経験。高速または大規模なストレージ機器や並列計算機などの大規模計算機の利用/システム構築経験、または自作PCの構築・運用経験。天文学の経験があればなお可。
- 英語による外国人研究者等との連絡や会話などのコミュニケーション能力
- 共同利用計算機(ファイルサーバ、大規模解析専用機、メール・ウェブサーバ等)の着実な構築と運用に向けた自己研鑽に対する強い意志

【勤務形態】

週5日(月～金勤務。土・日・祝日、年末年始(12/29-翌年1/3)は休日)

始業時刻 9:00～終業時刻 17:45(休憩60分、週あたり38.75時間勤務)

【待遇】

給与は年俸制。概ね国立大学教務職員相当

- ・職務内容、実績、経験等により決定した年俸額の12分の1の額を毎月支給
- ・年度毎に業績評価を行い給与の見直しを行います。

通勤手当支給(上限55,000円/月)

文部科学省共済組合(健康保険)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険に加入

有給休暇(年次休暇、夏季休暇、忌引等)あり

託児施設あり(生後57日～) ※ただし、状況によっては利用できない場合もあります。

※手当は自然科学研究機構の規程による。

【選考方法】 書類選考及び面接による選考

【提出書類】

- (1) 履歴書：3ヶ月以内に撮影した顔写真を貼付したもの
- (2) 抱負：A4で1ページ以内。採用された場合にどのように仕事に取り組むかを「抱負」として記述してください。また、着任可能時期についても明記してください。
- (3) 経歴書：A4で2ページ以内。上記「仕事の内容」のうち、応募者が主になって担当できると思われる、あるいは主担当を希望する、少なくとも2項目についての、応募者の実務経験について具体的に記述してください。また、英語力がどの程度あるのかを示す具体的指標(TOEIC、TOEFLスコアなど)を含めてください。
- (4) 必須条件とはしませんが、研究論文リスト
- (5) 計算機関連の業績または経験に関するリスト(実務運用経験を具体的に示すもの)
- (6) 出来るだけ迅速に連絡を取れる本人の連絡先(複数可)
- (7) 本人に関して意見を述べられる方の氏名と連絡先(2名以上)

【応募締切】 都度選考により採用枠が埋まるまで
【提出先】 国立天文台 天文データセンター センター長 高田 唯史
宛先： 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

※封筒の表に「特任専門員（天文データセンター）応募」と明記ください。

【問合せ先】

（応募に関する内容）

国立天文台 事務部総務課人事係

TEL：0422-34-4014

E-mail：apply-qa_AT_ao.ac.jp

（_AT_を@に置き換えて送信してください。以下同様）

（職務内容に関する内容）

国立天文台 天文データセンター長 高田 唯史

E-mail：tadafumi.takata_AT_ao.ac.jp

【注意事項】

- ・ 応募書類はこの選考以外のいかなる目的にも使用致しません。選考後、採用者以外の応募書類は責任を持って破棄します。
- ・ 面接に要する費用（交通費等）は応募者の自己負担となります。

【備考】

- ・ 本職は日本育英会奨学金返還免除職非該当です。
- ・ 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは、<http://open-info.ao.ac.jp/danjokyodo/> をご覧ください。